

世界のファンディングエージェンシー、メリットレビューの原則に関する声明を発表（5月15日）

5月14日及び15日、NSFの主催により世界各国から約50のファンディングエージェンシーの長を集めたGlobal Summit on Merit Reviewが開催され、各ファンディングエージェンシーによる仮想協議体であるGlobal Research Council（GRC）の設立について合意が形成されたほか、メリットレビューの原則に関する声明が発表された。

この原則は、研究事業の評価方法や、価値ある研究事業を選定するための枠組みに関するもので、専門家による審査や公正な採択プロセスなどを含む6つの主要要素から構成されている。

同原則に関しNSFのサブラ・スレシュ長官（Subra Suresh）は、全てが網羅されたものではないが、全員の賛同の上に作成されたもので、多国間研究事業を円滑に遂行するうえで役立つものであると称賛している。

活動開始の初年度は、①研究インテグリティ（research integrity）の定義、②科学情報へのオープンアクセスという2つの重要テーマに関する合意の形成を目指すとしている。

なお、JSPSからは安西理事長が出席し、研究環境やファンディングエージェンシーをとりまく状況のグローバルな変化、国際協力や若手育成の重要性等についてスピーチを行った。

その要旨は、JSPSのウェブサイト

[http://www.jsps.go.jp/information/data/Presentation\\_NSF20120515.pdf](http://www.jsps.go.jp/information/data/Presentation_NSF20120515.pdf)

からダウンロード可能。

American Association for the Advancement of Science, *New Global Research Council Takes Off*

<http://news.sciencemag.org/scienceinsider/2012/05/new-global-research-council-take.html>